

水風呂サウナでビンビンになった僕のチ○ポ 女店員さんに秘密の混浴へ招待され・・・

たまには温泉でも行ってみるか・・・・・・・・。

そう思ったのは隣の部屋に住むコウジさんの勧めだ。

普段は仕事をしながらたまにヒトカラとか市民プールに泳ぎに行ったりしている俺。

今では数ヶ月に一度くらいの少ない間合いにはなってしまったが、友達と軽く飲みに行ったりもする。

社会人になると、昔の友人や学生時代の同窓生などともかかわりを持つ回数は減っていき、だんだんと自分の仕事中心に生活が変化していく。仕事と自宅との往復と言うか。

家族を持てば生活の範囲はほぼそれだけになるということも、結婚をして家庭を築いている友人などとの話からも分かっている。

大人になるとは・・・・？

そういうことなのかなあ。

それでもたまに会うとやっぱり嬉しいものだ。

一緒に過去を回顧したり・・・・あの頃は何にも知らなくて世間擦れもしていなくて、知らないことも多くて楽しかったなあ・・・・なんてぼんやりと思う。

温かい良い雰囲気のスナックの店内の天井を眺めながらタバコをふかし、友人と話しているときなどはそれこそ子供の

頃に戻れるというか。十代の純朴で青臭いあの雰囲気に戻れたらなあなんて。

だけど人生はバランスがとれているもので、だからといってあの頃に戻りたいとは思わない。

色々経験を踏んで色々なことを知り、物事の分別を持って世の中をまだまだではあるけど俯瞰して見れるようになった。達観なんてできやしないけど、そんな今は今でこれはすごく貴重で価値が高いと思えるだけに・・・。

学生の頃は、将来なんてどうあがいたってなるようにしかない、何とかなるに決まってる。楽なもんだなんて甘っぼい考え方が自分をただぼんやりと覆っていた。心を支配すると言いうことはそれが世の中になるわけで、人は見たい世界しか見れないんだ。

平穏でどこまでもただ温和な世界が目の前には広がっていた。

だけど擦れた大変な世の中を知りその社会の中で頑張って生きていくしかないという現実を知るにつれ、そういう甘い考えは持てなくなっていくのだけど……。

まあ、みんなそんな感じだと思う。

だけどコウジさんは……。

「ちょっとそんな休日の過ごし方じゃ寂しいんじゃないか？」

そう言ってくれた。

たまに相談事などがあれば、いつもよくしてもらっているコウジさんの家に遊びに行く。

一緒に酒でも交わしながら夜更けまで過ごすこともある。

コウジさんももう40過ぎになるが独身でアクティブ。キャンプだとか例えば車の車内泊で日本を巡ったりだとか。

誰かと、自分一人で、に関係なく常に動いて遊んでおられる。

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)